



【イベントレポート】おかずクラブは美肌の持ち主！？ 25周年を迎える草花木果「草花木果 ゆずオイル」製品発表会を開催

アップサイクル独自原料「ユズ果皮エキス」の美肌菌へのアプローチを研究
～美肌菌が働きやすい環境をととのえることに着目した新処方を披露～

株式会社キナリ（東京都品川区、取締役社長：山本理史）が展開する自然派化粧品ブランド『草花木果（そうかもっか）』は、2026年10月29日（木）、TRUNK(HOTEL) CAT STREETにて「草花木果 ゆずオイル」製品発表会を開催いたしました。

ブランド誕生25周年を迎える節目である2026年11月2日（月）にリニューアル発売する「草花木果 ゆずオイル」のお披露目とともに、美肌菌研究の先駆者である神奈川大学 化学生命学部 生命機能学科 食品美容科学研究室 野嶽 勇一 教授による「皮膚常在菌（美肌菌）」と独自原料「ユズ果皮エキス」の魅力の解説、さらにゲストのお笑いコンビ・おかずクラブ（オカリナさん・ゆいPさん）の「肌フローラ」分析結果を紐解くトークセッションが行われました。



■ 誕生25周年を迎える「草花木果」
独自原料「ユズ果皮エキス*」開発から「草花木果 ゆずオイル」発売までの軌跡



冒頭、株式会社キナリ 取締役社長の山本 理史より、ブランドの歩みとリニューアルした「草花木果 ゆずオイル」製品の開発背景について発表を行いました。

「草花木果」は2001年の誕生以来、『植物由来成分』『肌へのやさしさを考えた無添加』『天然香料100%』にこだわり、植物の生命力を活かしたスキンケアを提案してまいりました。2021年からは高知県で大量に廃棄されていたゆずの搾汁残渣（未利用資源）に着目し、2024年に独自原料「ユズ果皮エキス」の開発に成功。その美容価値を明らかにするため、2026年4月より神奈川大学との共同研究を進めています。

山本社長は「キナリの独自成分である「ユズ果皮エキス」の機能を解明するには、我々では力不足と感じていた。美肌菌などの常在菌研究で先端を走る神奈川大学 化学生命学部 野嶽教授の手にかかれば何か新たな価値を見出せるのではないかと思い、共同研究を打診した。」と共同研究に至るまでの経緯を語りました。

■皮膚常在菌と美肌菌が働きやすい環境（肌フローラ）の重要性を解説

2026年4月より共同研究を実施している神奈川大学の野嶽勇一教授より、皮膚常在菌と美肌菌が働きやすい環境（肌フローラ）の重要性について解説いただきました。

野嶽教授は「私たちの肌にはさまざまな『皮膚常在菌』が共生しており、それぞれが関わり合いながら肌環境を形成しています。なかでも『美肌菌』として知られる表皮ブドウ球菌は、皮脂を分解して保湿成分や弱酸性成分を生み出すなど、健やかな肌を保つうえで重要な働きを担っています。一方、『皮膚常在菌』の中には、増えすぎることによって肌トラブルにつながるとされる菌も存在します。健やかな肌を考えるうえで、こうした『皮膚常在菌』のバランスに目を向けることも重要です。」と解説。肌のバリア機能を保ち、健やかな状態を保つためには、『美肌菌』が働きやすい環境（肌フローラ）をととのえることが極めて重要です。ゆずの未利用資源から抽出した『ユズ果皮エキス』の研究試料には、素晴らしい可能性が秘められていました。」と語り、産学連携による研究成果を示唆しました。



■ アップサイクル独自原料「ユズ果皮エキス」が秘める新たな可能性

●「ユズ果皮エキス」研究用試料の抗酸化作用

- ・ユズ果皮エキス研究用試料に含まれる成分が、異なるタイプの活性酸素種を消去
- ・活性酸素種に起因する肌トラブルの予防に期待

●皮膚常在菌の増殖に対する「ユズ果皮エキス」研究用試料の影響

- ・美肌菌の増殖を促進、黄色ブドウ球菌の増殖を抑制
- ・皮膚常在菌叢のバランスを改善する物質が含まれている可能性！?

今回の共同研究では、アップサイクル独自原料「ユズ果皮エキス」をもとに調製した研究用試料を用いて、抗酸化作用や皮膚常在菌の増殖に対する影響を検証しました。その結果、抗酸化作用に関する試験では、研究用試料に含まれる成分が、異なるタイプの活性酸素種を消去する作用を示しました。活性酸素種は肌トラブルにも関わることから、今回の結果は、ゆず由来成分の美容分野における新たな可能性を示すものとして期待されます。

また、皮膚常在菌に関する試験では、“美肌菌”として知られる表皮ブドウ球菌の増殖を促進する一方、肌トラブルとの関わりが知られる黄色ブドウ球菌の増殖を抑制する結果が確認されました。

これらの結果から、研究用試料には、皮膚常在菌叢のバランスを改善する働きにつながる物質が含まれている可能性が示唆されました。今回の研究を通じて、これまで十分に活用されてこなかったゆず搾汁残渣由来の成分に、新たな美容価値が期待されることが紹介されました。

※本研究結果は、研究用試料を用いた試験管内試験（*in vitro*）によるものであり、製品そのものの効果や、人の肌における作用を確認したものではありません。

■ おかずクラブの「肌フローラ」分析結果を公開！美肌菌の専門家が認めた“美肌”の真相とは



続くトークセッションでは、芸人界屈指の美肌の持ち主と称されるおかずクラブのオカリナさんとゆいPさんがゲストとして登場。事前に実施されたお二人の「肌フローラ」検査の分析結果が、野嶽教授によりステージ上で発表されました。

ゆいPさんは、皮膚常在菌のバランスが良い「優等生型の美肌」という結果に。特に『美肌菌』の割合が推奨値の約3倍あることが明らかになり、「やった～！自信になります！マジ、うれしー！」と喜びの声を上げました。

一方でオカリナさんの肌は、善玉菌の一種の構成比が65.6%と昨年の52.1%からさらに上昇しており、野嶽教授から「『8,000人に1人のレア肌』をキープしていますね」と伝えられると「やっぱり選ばれしものだからね」と得意げな様子を見せました。

普段のスキンケアについて、オカリナさんは「洗顔後は清潔なもので、こすらずに顔を拭くこと」、ゆいPさんは「日焼け対策と丁寧な保湿」を挙げると、野嶽教授からもUVケアや保湿、摩擦を避ける洗顔など、美肌を保つための適切なケアポイントが伝えられました。

■美肌菌を守る鍵は「洗顔・汗・皮脂」！「ノダケ流 育菌5箇条」を披露

さらに野嶽教授より、摩擦の強い洗顔（3往復/秒×20秒を2セット）を行うと、美肌菌が70%も失われてしまうという実験データが紹介されました。「美肌菌を含む善玉菌にとって『汗や皮脂』は大切なエサとなるため、過剰に落としすぎず、適度な運動やバランスの良い食事で肌の菌環境をととのえることが大切です」と語り、日常生活で実践できる「ノダケ流 育菌5箇条」が紹介され、毎日の正しい習慣づくりの重要性を呼びかけました。

<ノダケ流 育菌5箇条>

1. 細かい泡を立て、吸着させるような優しい洗顔进行を心がけるべし！
(過剰な洗顔を避け、弱酸性の洗顔料を使用)
2. 洗顔時はぬるま湯を使用するべし！
(水すぎず高温すぎない温度で皮脂バランスをキープ)
3. 適度な運動でジワっと発汗するべし！
(運動と質の高い睡眠で皮脂分泌を適正化)
4. 食事のバランスに気をつけるべし！
(ジャンクフードや肉類の過剰摂取を控え、皮脂の過剰分泌を防ぐ)
5. 休日はすっぴん：「肌断食」するべし！
(厚化粧を控え、皮膚が健やかに保たれる環境をつくる)

■美肌菌が働きやすい環境へ着目した新「草花木果 ゆずオイル」をおかずクラブが体験！

レクチャーを受けたおかずクラブのお二人は、リニューアルした「草花木果 ゆずオイル」をその場で体験。 使う直前に振ることで＜美容オイル＞と＜発酵美容液＞の2層が混ざり合う様子を楽しみながら手元になじませると、オカリナさんは「オイルなのに重たなくてスツとなじみますね。サラッとしていて、肌馴染みやすいです」、ゆいPさんは「ゆずの香りも爽やかで癒されます！美肌菌が好きな油分をこれで補います！」と、その使用感と高知県産ゆず100%の天然精油の香りを絶賛しました。



【関連するプレスリリース】

【株式会社キナリ】神奈川県と「ゆず残渣」の皮膚有用性に関する研究を開始
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000061.000024836.html>

草花木果について



草花木果は、『植物由来成分』『肌へのやさしさ考えた無添加』『天然香料 100%』をコンセプトに掲げて、2001年に誕生しました。

雄大な自然の厳しい環境に適応してきた「草」「花」「木」「果」の生命力あふれる植物のちからを活かし、機能性と肌へのやさしさ、素材にこだわる自然派化粧品ブランドです。

草花木果はこれからも、植物の力を活かした商品づくりを通じて、植物の新たな価値をお客さまへ届けるとともに、その可能性を未来へつないでまいります。

<取材のご案内>

本リリースに関連し、下記の取材にご対応いたします。

- 「草花木果 ゆずオイル」製品ならびに製品画像の貸出・提供
- 高知県の産地取材：ゆずの収穫、搾汁の現場、搾汁後に残る内皮と種子
- インタビュー：株式会社キナリ 取締役社長 山本 理史。なぜ未利用資源「ゆずの残渣」アップサイクルに取り組んだのか
- 独自成分「ユズ果皮エキス」について
- 神奈川県 化学生命学部 生命機能学科 食品美容科学研究室での研究取材：野嶽 勇一教授による共同研究の内容 …等

取材のお申し込み・ご相談は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【会社概要】

会社名：株式会社キナリ
所在地：東京都品川区東品川2-2-24
代表者：取締役社長 山本 理史
資本金：1,000万円
事業内容：化粧品の企画・開発・販売
URL：www.sokamocka.com

<本リリースに関するお問い合わせ先>

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24
株式会社キナリ PR・広報：岩田
TEL：090-6392-6109
e-mail：etsuko-iwata@kinari.co.jp

<お客さまからの商品に関するお問い合わせ先>

キナリお客さまセンター：0120-47-8910
公式ブランドサイト：www.sokamocka.com